



2月9日

### 6人の鬼大活躍 丸小野子供修正鬼会



武蔵町丸小野地区の伝統行事「丸小野子供修正鬼会」が行われ、地元の男児6人が鬼に扮して大役を務めました。座元の野田幸子さん宅で盃の儀を行うと、近くの山の中にある稲荷様へ移動。地元住民たちが2本の大松明をかついで急斜面を登りました。鬼たちは香水棒を打ち鳴らして舞を披露したり、参拝者を囲み松明で無病息災の加持をしました。

2月6日

### 佐藤悦子さん講演 男女共同参画研修会

アストくにさきで「活躍する女性の方の話を聞こう!」をテーマに、武蔵町の佐藤悦子さんが「10年の時を経て…母と子の絆…」と題して講演しました。佐藤さんは、飲酒運転の車にひき逃げされた息子の命がどれほど大事だったかを知ってもらい、同じような加害者や被害者をつくらないために、飲酒ひき逃げの厳罰化を求める活動を続けてきました。「人はあきらめずに一つの事をし続けると、思いは必ず叶うということをも身を持って知ることができました。今後は犯罪被害者支援活動に携わり、また署名をしていただいた全国の皆様に感謝の気持ちをもって生活していきたい」と話しました。



2月14日

### みそ作りを通じて食の大切さを学ぶ 武蔵東小学校

武蔵東小学校の3年生29人がみそ作りを体験しました。袋に入れた煮大豆1kgが配られると、足で踏んでつぶし、麦麴と塩を加えて混ぜ専用の箱に収めました。子どもたちは「みそに近い香りがする」と、楽しそうに作業を続けていました。指導して20年以上になる安永醸造の安永隆一さんは、「みそ作りを通じて食文化を学んでほしい。毎朝、ごはんのみそ汁を食べてもらいたい」と話しています。なお、このみそが食べごろになるのは半年先になるということです。



2月17日~21日

### 県内一周駅伝 くになさきチーム大健闘



「B部昇格」を目指し、5日間の駅伝に臨んだ「国東市・東国東郡チーム」は、総合10位、躍進2位の成績で見事目標を達成しました。今大会は、雪や雨に見舞われる過酷なレースとなりましたが、選手一人ひとりが実力を発揮してタスキをつなぎました。また、最終日の国東市通過では、子どもから高齢者までたくさんの市民が熱い声援を送りました。



2月1日

### 鬼が舞い、仏の里に春を呼ぶ 成仏寺修正鬼会

国東町の成仏寺で伝統行事「修正鬼会」(国指定重要無形民俗文化財)が開催されました。3本の松明を山門前まで運ぶタイヤゲや、僧侶らによる読経に続き、午後10時半過ぎに仏の化身とされる「災払鬼」「荒鬼」「鎮鬼」が本堂から登場。松明を振りかざしながら独特な舞をみせ、タイヤシと輪を作って参拝者を囲み、松明で肩や背中をたたき無病息災を祈りました。その後、鬼たちは地区の家々をまわり、もてなしを受けました。小雨の降る境内は、市内外から訪れた多くの参拝者で深夜までにぎわいました。

2月1日

### 赤根ゆけむり会 桜満開の公園めぐり



国見町赤根地区のグループ「赤根ゆけむり会」(竹中友一会長)は、一ノ瀬ため池そばの雑木林を切り開き、ソメイヨシノの苗木20本を植えました。会の結成20周年を記念して取り組んでいるもので、桜で満開の公園づくりを目指しています。シカによる被害も多いことから、シカよけ対策も施しました。会員のみなさんは、「赤根温泉や千燈岳を訪れる観光客をはじめ、地元住民にも楽しんでもらえるように、植樹を続けていきたい」と話しています。

### 文化財防火デー 伊美別宮社で防火訓練



2月1日

「文化財防火デー」の一環として国見町の伊美別宮社で文化財防火訓練が行われ、地元のみなさんをはじめ、市消防本部や地元消防団が参加しました。訓練では神社の役員らが文化財に見立てた箱を運び出し、消防団員などが3カ所の水利からホースを繋いで、消火活動を実施しました。伊美別宮社は、毎年11月に「流鏝馬」が開催される場所です。総代長の小深田司さんは、「伝統行事とともに、しっかりと文化財を守っていきたい」と話していました。

2月4日

### 春を心待ちに 立春朝搾り



国東町の萱島酒造(萱島進社長)で、立春に搾った特別純米生原酒「立春朝搾り」の出荷作業が行われました。早朝から社員や県内外の酒販売店員など50人が集まり、できたての生原酒を透明な瓶に注ぎ、ラベルを貼り付けました。酒蔵でおはらいを受けた酒は、トラックに積まれて九州各地で春を心待ちにしている方々へ届けられました。

